


第14回日本公衆衛生看護学会学術集会

災害・健康危機管理委員会 主催

ワーク
ショップ
E-5



コロナを超えて 市町村、保健所、保健師教育機関が 「重層的に協働する」健康危機管理保健活動 ～保健師がつなぐ健康危機管理と地域づくり～

【日時】▶▶▶12月14日(日) 10:50～12:10

【会場】▶▶▶E会場(第5研修室)

新型コロナウイルス感染症流行時には、逼迫する保健所へ市町村や教育機関も応援に入り、ともに地域の健康危機に対峙しました。市町村にとっては感染症対応の実務を積む機会となり、教育機関にとっては課題整理や対応策を提示するなど保健活動の伴走支援、健康危機管理に関わる基礎教育の見直し、視聴覚教材の開発等につながる機会となりました。

そこで、今回のWSでは、コロナを超えて、感染症健康危機管理に関わる対応力向上を目指して歩みだした市町村、保健所、保健師教育機関の実践報告をもとに、基礎教育と実践現場の新しい連携の“カタチ”を、地域づくりの視点を踏まえて、皆様と考えたいと思います。

～ご参加をお待ちしています～

●内容●

①実践報告

- 「新型コロナウイルス感染症対策神奈川モデルの経験から」
～今後の健康危機管理における県と市町村との連携を考える～
- 高齢者福祉施設の感染症対応力の向上に向けた地域づくり
～高齢者施設と取組んだ感染症対策事例集「隣の施設の感染対策アイデア帳」～
- 保健師教育における感染症健康危機管理教育向上のための視聴覚教材の作成と活用

②意見交換

テーマ：感染症健康危機に備えた基礎教育と現任教育の重層的な人材育成について
地域づくりの視点を踏まえて、市町村・保健所・保健師教育機関が協働できること。
※詳細は裏面をごらんください

※ご参会には学術集会参加登録及び参加費のお支払が必要です。

ワークショップ世話人：河西 連絡先：090-2941-7879

～タイムスケジュールと内容～

●進行・趣旨説明 10:50～10:55

●実践報告 10:55～11:35

○「新型コロナウイルス感染症対策神奈川モデルの経験から」

～今後の健康危機管理における県と市町村との連携を考える～

神奈川県鎌倉保健福祉事務所 村岡 広代 氏
神奈川県海老名市 安本 栄 氏

○高齢者福祉施設の感染症対応力の向上に向けた地域づくり

～高齢者施設と取組んだ感染症対策事例集「隣の施設の感染症対策アイデア帳」～

東京都西多摩保健所（前東京都多摩府中保健所） 大井 恭世 氏
帝京平成大学 工藤 恵子 教授

○保健師教育における感染症健康危機管理教育向上のための視聴覚教材の作成と活用

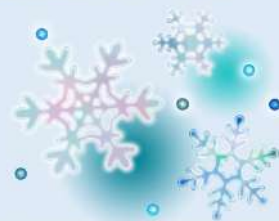
全国保健師教育機関協議会/東京医科大学 鈴木 良美 教授

●意見交換（GW） 11:35～12:05

テーマ：：感染症健康危機に備えた基礎教育と現任教育の重層的な人材育成について
地域づくりの視点を踏まえて、市町村・保健所・保健師教育機関が協働できること。

＊参加者それぞれの立場での行政機関同士の連携や、教育機関と連携して、感染症対応力の向上に向けた組織づくり、地域づくりについて、認識を深め、今後の活動にいかす機会にしたいと思います。

●まとめ 12:05～12:10



【災害・健康危機管理委員会メンバー】

河西 あかね(東京都多摩府中保健所)	秋葉 絵美(北海道留萌保健所)
雨宮 有子(千葉県立保健医療大学)	和泉 京子(武庫川女子大学)
門脇 睦美(東京医科大学)	相良 裕美(多摩市障害福祉課)
鈴木 良美(東京医科大学)	相馬 幸恵(新潟県健康づくり支援課)
深津 恵美(北海道科学大学)	松浦 さゆり(滋賀県草津保健所)
室山 孝子(横浜市保土ヶ谷区福祉保健センター)	山本 裕美(元東京都日野市)

【オブザーバー】

松本 珠実(日本看護協会)